

環境情報研究所創立10周年を迎えるにあたって

本研究所は、環境および関連分野の研究・調査、情報の収集・処理、ならびに環境情報教育に関する事業を行うことによって、国内外における学術研究・教育の推進ならびにその発展に寄与することを目的として、1992年4月に千葉敬愛短期大学環境情報研究所として設立されました。その後、千葉敬愛短期大学国際教養科が1997年4月敬愛大学国際学部に変更・転換されたのに伴い、国際学部附属となって現在に至り、今年で創立10周年を迎えることができました。

この間、研究施設の充実が図られ、環境計測室(大気環境・水環境の測定分析)、環境データ解析室(気象データ・衛星画像・地理情報などの解析)、さらに屋外に環境総合観測所(気象・水文・酸性雨観測)を完備するに至りました。

また資料・情報の収集も進み、環境関係図書約4000冊(黒坂文庫)、学術交換雑誌約50種類、気象・大気汚染データ、各種地図、その他の資料が収集されました。

これらの諸施設・資料の活用のもとに、研究活動は、(1)基幹研究「本研究所を中心とする千葉県北部地域における酸性雨の地域的特性に関する研究」、(2)共同研究「千葉県成田市三里塚周辺地域の社会的・文化的特性に関する実証的研究」、(3)一般研究(個人研究)の各研究活動が活発に行われてまいりました。それらの研究成果は、1993年3月より毎年1回刊行される本研究所機関誌「環境情報研究」によって公表され、お蔭様でここに第10号(環境情報研究所設立10周年記念号)刊行の運びとなりました。

さらに国際学部附属機関としての本研究所は、学生に対する環境教育の面でも重要な役割を果たすとともに、年1回開催の環境セミナーを通して、地域社会にも貢献してまいりました。

以上のように、これまでの10年間は、施設・設備をはじめとする研究体制の基礎作りの期間でありました。今後は、これらの基礎の上にたって、教育・学術研究の推進ならびにその発展に寄与してまいりたいと存じます。

このような本研究所の今後の活動に対し、皆様方のこれまで以上のご理解とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

2002年4月

敬愛大学 環境情報研究所

所長 中 村 圭 三